



第五十一回

女流箏曲鑑賞会

名誉会員

佐藤 親貴

上田 親智井

正会員

荒木 順子  
石堂 翠子  
井土垣 親由井  
岩崎 千恵子  
大日 三智子  
大西 しず子  
奥田 洋子  
川勝 彰晃  
菊糸 恵美子  
菊岩 千和  
菊汐 侑子

菊塚 千秋  
菊美智 あつ子  
菊領 令華  
菊和 玲保  
倉橋 文子  
酒井 いく子  
信田 和美  
島田 恭江  
清水 万紀子  
高田 智ナミ  
竹中 良子

田中 佐久子  
内藤 比露枝  
中野 幹子  
中美月 栄博  
中美保 栄恭  
二宮 貴久輔  
萩丘 千栄子  
萩紗賀 千津代  
萩宏 和子  
萩茂里 卓子  
萩侑 加代子

福家 親昭井  
藤井 佐和  
藤原 明美  
細見 由枝  
町田 令芳  
水田 光世  
宮前 親操井  
宮本 由美子  
山口 朋子  
山崎 晃秀  
山本 井智世

(五十音順)

平成26年 9月28日(日) 12時 開演  
 テイジンホール TEL 06-6268-3131  
 大阪市中央区南本町1丁目6-7 (地下鉄堺筋線堺筋本町駅 2番出口)  
 主催 箏曲女流協会 入場料2,000円

ご あ い さ つ

移りゆく季節に秋の気配を感じます頃となりました。

本日は、ご来場下さいましてありがとうございます。

今年も第五十一回女流箏曲鑑賞会が開催できます事は、ひとえに皆様のご支援の賜と会員一同深く感謝申し上げます。

それぞれの流派にあつて正しく伝承し又それを後進へ正しく伝えることがこの会のあり方の一つと考えております。

私達は本会の発展の為に、努力してまいります。

今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

会員一同

平成二十六年 初秋

## 曲 目

八橋檢校作曲

序曲 六 段 の 調

箏

萩 丘 千栄子  
侑 加代子

三 絃

萩茂里 卓子  
萩宏 和子  
萩紗賀 千津代

松浦檢校作曲

一、 新 浮 舟

三絃本手  
三絃替手  
尺 八

菊 岩 千和  
菊 塚 千秋  
阪 口 夕山

宮原檢校作曲

二、 水 の 玉

箏

町 田 令 芳

三 絃

菊 領 令 華  
中 野 令 世

三、尾上の松

作曲者不詳

三絃本手  
尺三絃替手  
八  
水田光世  
大日三智子  
辻村萩盟

四、船の夢

菊岡検校作曲

箏  
菊汐侑子

三絃  
菊糸惠美子  
菊美智あつ子

五、藤戸

尾州 某作曲

箏  
中庭晃榮

三絃  
川勝彰晃  
奥田洋子  
植木晃菁

六、青柳

石川勾当作曲  
箏手付・八重崎検校

箏  
山宮前親操井  
本井智世

三絃  
尺八  
上田親智井  
井土垣親由井  
福家親昭井  
今井幸盟

七、京砧

作曲者不詳

三絃本手  
三絃替手  
萩丘千栄子  
萩茂里卓子  
萩紗賀千津代  
萩宏和子  
萩侑加代子

八、けしの花

菊岡検校作曲

箏  
細見由枝

三絃  
尺八  
中野幹子  
堀内崇嶺

九、四季の柳

宮城道雄作曲

箏 田中佐久子

尺三 八絃 大飯山西しず子  
大西裕美風

十、新娘道成寺

作曲者不詳

箏 宮本由美子

尺三 八絃 中倉橋文子  
川銀湧

十一、出口の柳

宇治加賀掾作詞  
初代杵屋長五郎作曲

三絃本手 石堂翠子  
三絃替手 藤原和美美子  
竹中良子

十二、石橋

芳沢金七作曲  
若村藤四郎作曲

箏 清水万紀子

三絃本手 松永聖子  
三絃替手 藤川かをり

十三、若菜

松浦檢校作曲

箏 菊咲洋子

尺三 八絃 荒麻菊  
川野和玲子  
永淑子保山

十四、八島

藤尾勾当作曲

尺三 八絃 島西恭江  
三絃替手 島村ゆかり  
八 島田道雪

菊岡檢校作曲  
箏手付・八重崎檢校

十五、竹生島

箏 大田佳恵

尺三 絃 岩崎千恵子  
八 酒井いく子  
倉山井朋子  
橋口朋子  
容子堂

作曲者不詳  
箏手付・笹尾檢校

十六、海人小舟

箏 藤井佐和

尺三 絃 荒木順子  
八 内藤比露枝  
中高田智ナミ  
中井星山

菊岡檢校作曲  
箏手付・八重崎檢校

十七、園の秋

箏 中美月栄博

尺三 絃 中美保栄恭  
八 谷中保範

終演予定 午後五時ごろ

ナレーター

齋藤秋子

次回 女流箏曲鑑賞会

平成二十七年九月二十七日開催予定